

縄文のうた

赤羽 千雲（茅野市）

① 空が色づく 陽がのぼる

鳥もさえずり 野山も目ざめ

はるか太古よりくり返す 大地の恵みをうけながら

黒曜石のかがやきは 遠くどこまでとどくのか

ハ西麓(やつせいらく)は 今日も生きづく

② たすけあい ささえあって

生きた村人(むらびと) 家族のいとなみ

知恵と工夫のおりなす業は 先人達のおくりもの

仮面ビーナスの願いは 遠くどこまでひびくのか

輪になっておどろう 豊じょうまつり

③ つづけよう つなげよきずな

我等はちかう とわの流れを

ゆたかな自然と痕跡を あとに引き継ぐ心根を

縄文の里の歌声は いついつまでも続くよう

宝を未来へ とどけよう